

ついに発見したわ！
やはりSLUT細胞は
実在したのね！

見てなさい……！
これで、さんざん私を
馬鹿にしたマスコミや
頭の固い学会も……

ギヒヒッ！

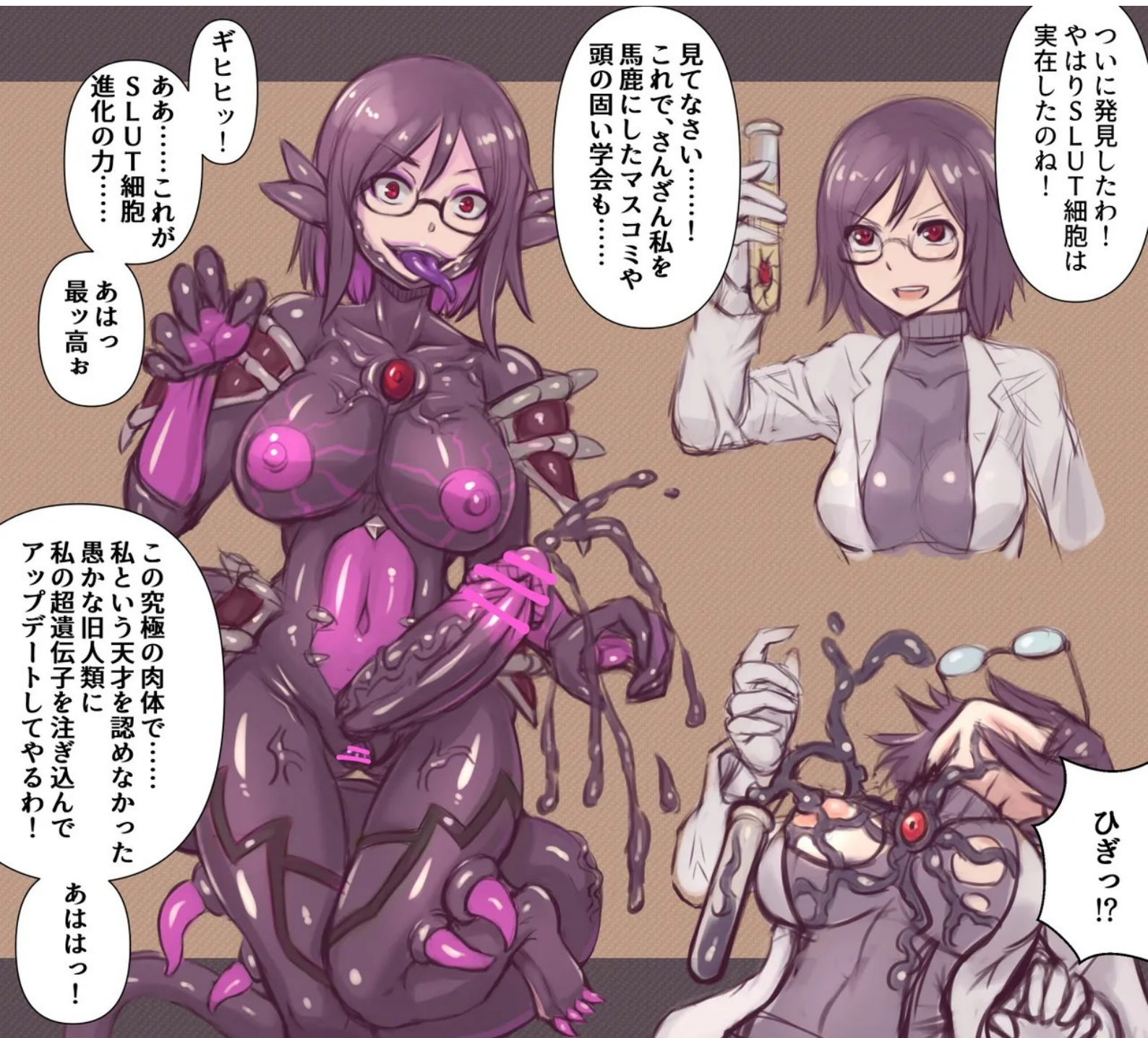
ああ……これが
SLUT細胞
進化の力……

あはっ
最ッ高お

この究極の肉体で……
私という天才を認めなかった
愚かな旧人類に
私の超遺伝子を注ぎ込んで
アップデートしてやるわ！

あははっ！

ひぎっ!?



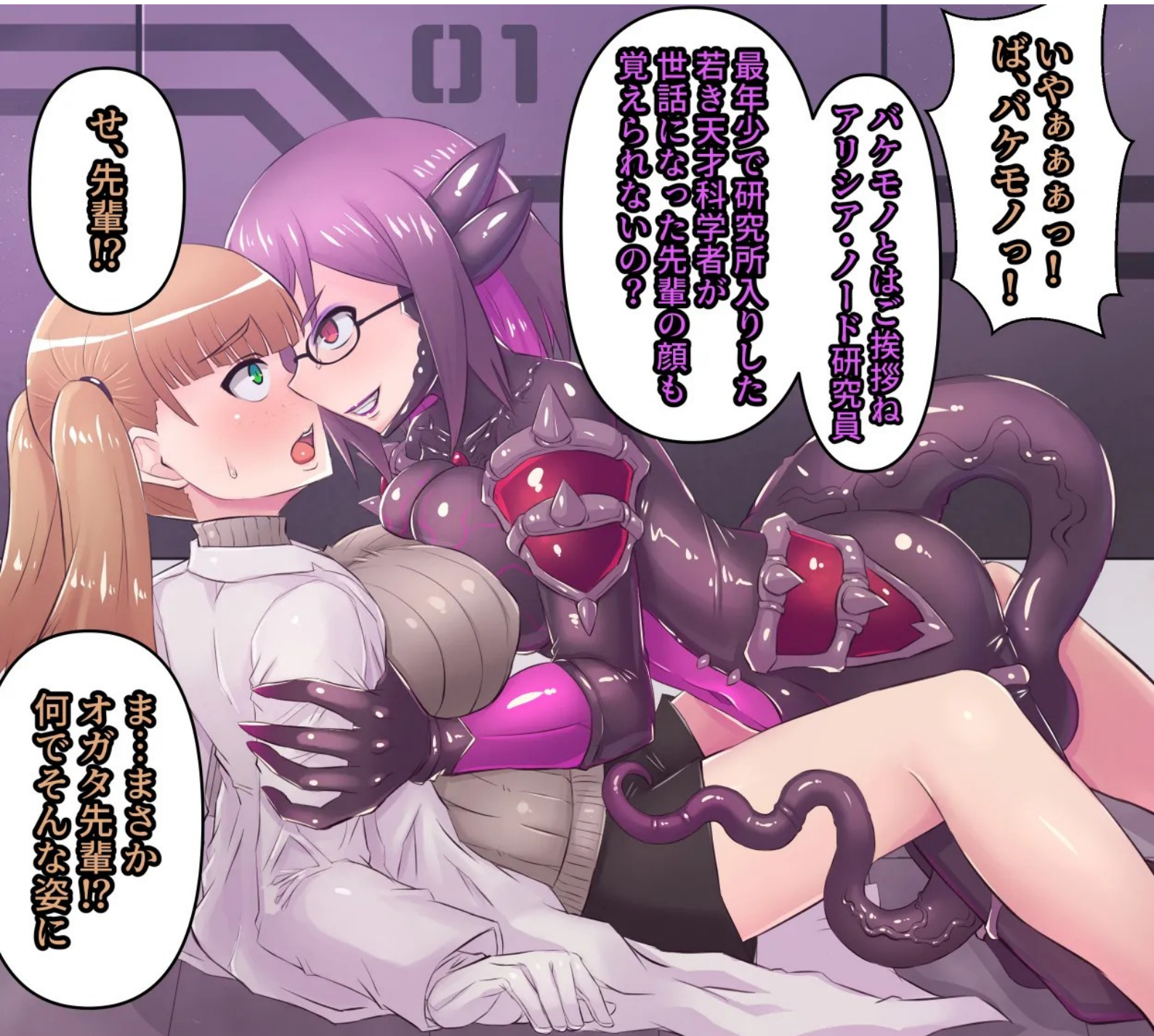
いやあああつ！
ば、バケモノっ！

バケモノとはご挨拶ね
アリシア・ノード 研究員

最年少で研究所入りした
若き天才科学者が
世話になった先輩の顔も
覚えられないの？

せ、先輩!!

ま…まさか
オガタ先輩!!
何でそんな姿に



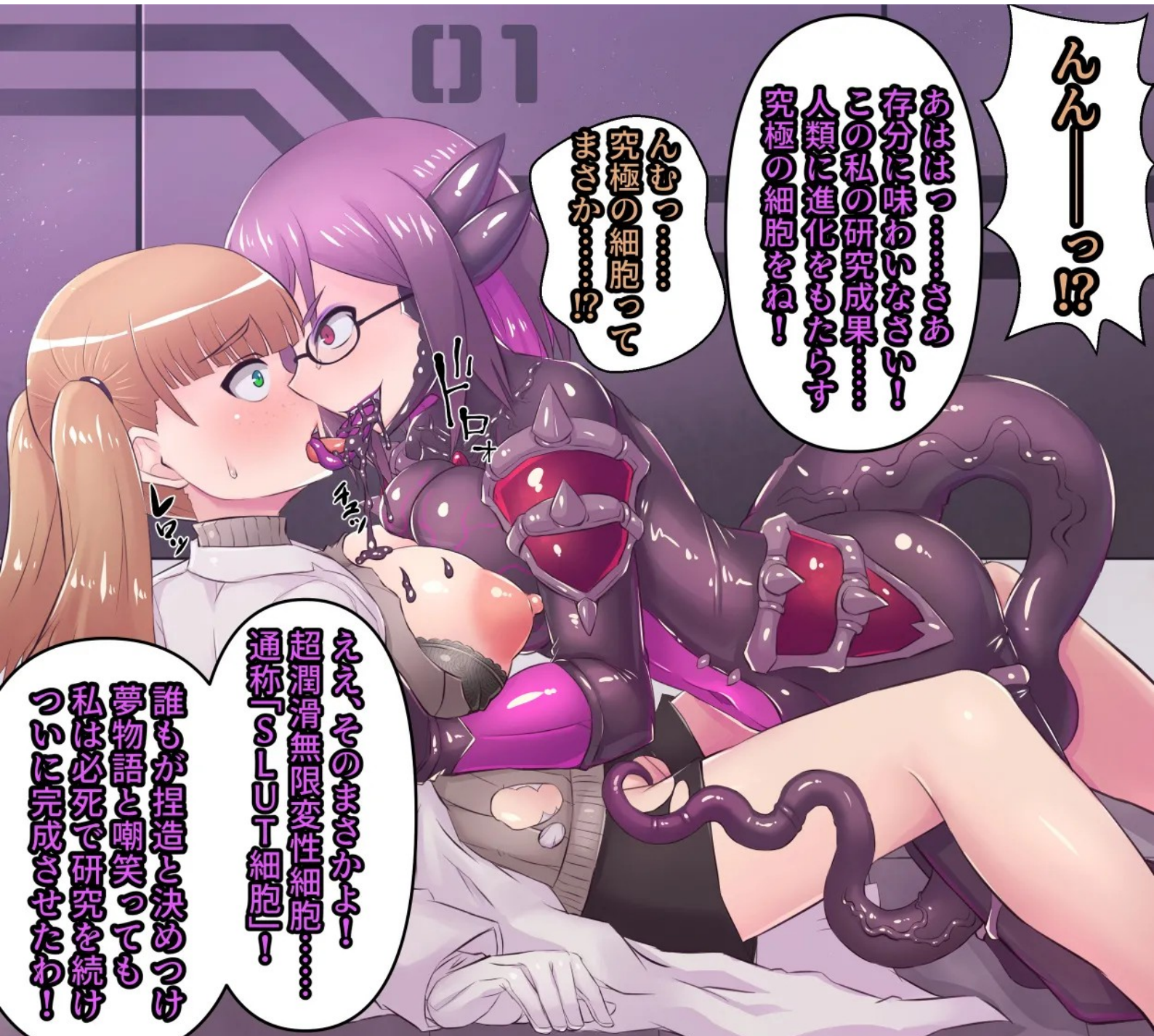
んん——っ!!

あははっ……さあ
存分に味わいなさい!
この私の研究成果……
人類に進化をもたらず
究極の細胞をね!

んむっ……
究極の細胞って
まさか……!!

ええ、そのまさかよ!
超潤滑無限変性細胞……
通称「SLUT細胞」!

誰もが捏造と決めつけ
夢物語と嘲笑っても
私は必死で研究を続け
ついに完成させたわ!



SLUT細胞……？
まさか、それを体内に
取り込んだんですか
安全性の証明すら
されてないモノを！

ええそうよ？
素晴らしいでしょう？
肉体の細胞全てが
望むままに変異する
理想的な生命体へと
進化したのよ

全ての細胞が
変異……って

そんなことしたら
脳細胞を侵食されて
精神に異常を……！

黙りなさい

私は狂っていない！

狂ってるのは

私という天才を

認めようとしない

この世界の方よ！

だいたい……
他人の心配なんて
してる場合？

あなたの肉体も
既にSLUT細胞に
侵されつつあるのよ？

なっ……!!

ふふっ……
恐れることはないわ
これは人類を
次なるステージへと
進化させるための
壮大な実験なのよ

細胞が適合すれば
あなたも私のように
進化した存在に
生まれ変わるわ！

い…嫌です

どんな凄い発見だろうと
人の心を失う進化なんて
間違ってます……!!
科学はそんなことの為に
あるわけじゃない……!!

ジワ…



ひらっ!
ちよっ……
やめてください
先輩……っ

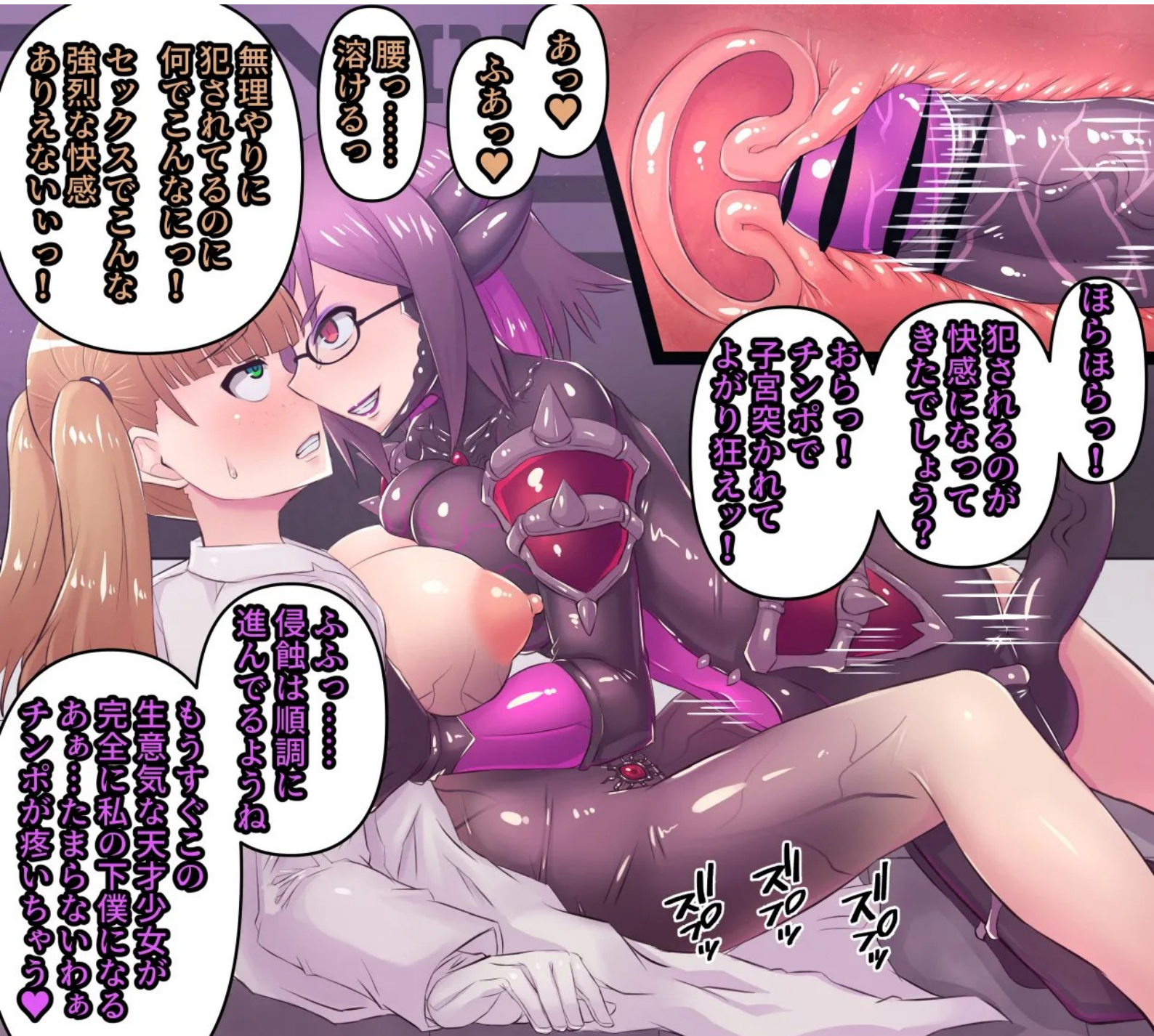
ズン

ひぎらっ!

あはっ!
いいメス穴じゃない
やっぱり天才は
男を喜ばせる才能も
一流なのかしら!

ちゅちゅ

ふふ、このチンポは
SLUT細胞で作った
特別製よ!
心配しなくても
すぐに気持よくなるわ!



ほらほらっ!

犯されるのが快感になつてきたでしょう?

おらっ!
チンポで子宮突かれてよがり狂えっ!

ジロッ
ジロッ
ジロッ

あっ♡

ふあっ♡

腰っ……溶けるっ

無理やりに犯されてるのに何でこんなにつ!

セックスでこんな強烈な快感ありえないっ!

ふふっ……
侵蝕は順調に進んでるようね

もうすぐこの生意気な天才少女が完全に私の下僕になる
ああ……たまらないわあ
チンポが疼いちゃう♡

さあ、そろそろ
フィンッシュといくわ
大量のSLUT細胞を
子宮に注いで
アリシアという人格を
塗り潰してあげる！

どれほど優秀でも
所詮ただのメスガキ
SLUT細胞が
もたらす超快楽には
耐えられないッ！

さあアリシア
ひれ伏しなさい！
真の天才である
この私の頭脳に！

そして認めなさい！
こんなにも素晴らしい
歴史的発見を否定した
お前自身の愚かさを！



あはっ、出てるうっ！
私が体内で生成した
侵蝕性細胞が
子宮の中からアリシアを
汚染していくっ！

ははっ……いいぞッ！
優秀な脳細胞を
私の精液で書き換えて
己がチンポに服従する
メス豚であることを
遺伝子に刻んでやるッ！

意識を……保たなきや
私が消える……終わる
なのに……なのに

気持よすぎるうっ！

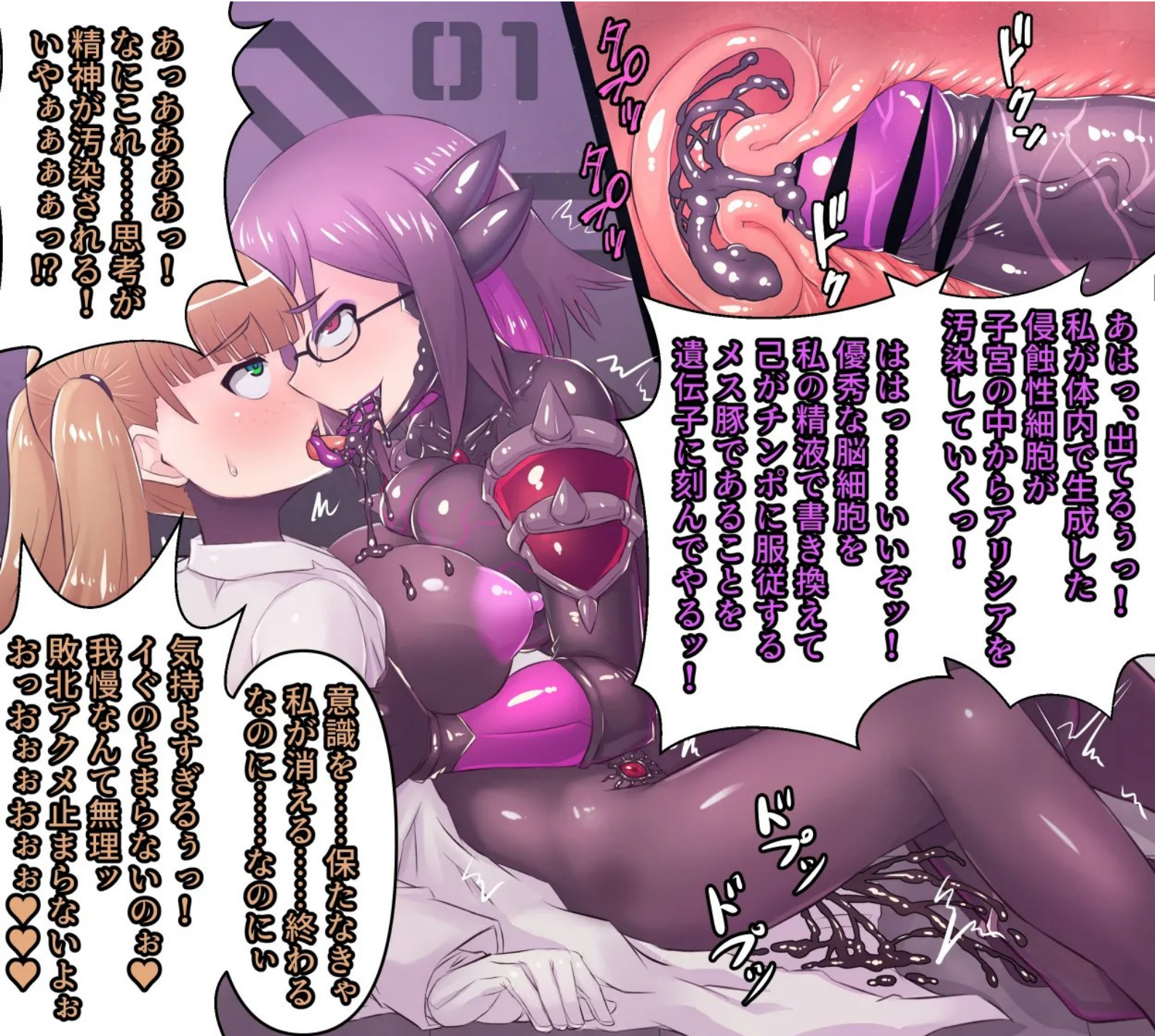
イぐのとまらないのお♡

我慢なんて無理ッ

敗北アクメ止まらないよお

おっおっおっおっおっ♡♡♡

あっああああっ！
なにこれ……思考が
精神が汚染される！
いやああああっ！



ああ……
意識が遠のいていく
脳細胞が変質して
私が消えていく……

ああ……
次に目覚めた時には
私という存在は
もう別の何かに……

これは……私？

なんで……こんな姿に

わからない……もう、何も

ああ……カラダが、疼く

